

Doc. No.: MTNL070523

2007年5月23日

## JDF/CIP4対応ワークフローシステムの最新バージョン「Trueflow SE」を発売

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアテクノロジーカンパニー(社長：藤澤 恭平)はこのほど、JDF/CIP4対応ワークフローシステム「Trueflow(トゥルーフロー)」の最新バージョン「Trueflow SE」を開発。2007年8月から販売を開始します。

当社は、2007年を“PDFブレイク元年”と位置付け、印刷関連業界に向け、PDFのメリットを生かしたワークフローの導入を強力に推進してきました。その一環として、このたびAdobe社の最新コア技術「Adobe PDF Print Engine<sup>®</sup>」の採用や、印刷品質や生産効率を向上させるための各種機能の追加などにより、Trueflowをさらに発展させたTrueflow SEを開発しました。

Trueflow SEは、入稿されたPDFをダイレクト処理することにより、DTPアプリケーションの透明効果など、制作者の意図を印刷結果に正確に反映させるソリューションを実現。Adobe PDF Print Engineの搭載により、より高いレベルでのPDFワークフローへの対応が可能となりました。さらに、現在Trueflow3を導入しているユーザーの運用環境を忠実にサポート。各種処理や出力結果における高い互換性により、Trueflow SEへのスムーズな移行を実現します。また、製版現場と印刷現場が異なる2サイト運用においても、受け渡しジョブデータの信頼性を大幅に向上しています。このほか、主要なオンデマンドカラーデジタル印刷機(以下、POD)メーカーとのコラボレーションにより、Trueflow SEからPODへの出力指示を可能にするとともに、小ロット、短納期対応のソリューションとして、印刷物の目的や部数に応じて印刷方法を切り替え、生産効率の良いハイブリッドワークフローシステムを構築します。

当社は、今回のTrueflow SEの発売により、PDF入稿をさらに促進するとともに、従来の一般商業印刷分野を中心に販路を拡大し、さらなるシェアの拡大を図ります。

\* この製品は、5月24日から5月26日まで大阪・南港「インテックス大阪」で開催される「JP2007情報印刷産業展」で紹介します。

※ Adobe PDF Print Engine

印刷出版業界における次世代PDF印刷プラットフォームとして、デザインから印刷に至るあらゆる印刷生産工程で利用される新しい技術。透明効果などを含む複雑なデザインデータを変換することなく正確に印刷できるため、制作側の意図を印刷側に正確に伝達できます。

\* Adobe、Adobe PDF Print Engineは、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

### <販売開始予定>

2007年8月

### <国内希望販売価格(消費税別)>

670万円(スタンダードモデル)

### <年間販売予定数(初年度)>

500台(国内)

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 メディアテクノロジーカンパニー 企画統轄部 商品企画部：  
Tel 0774-46-7964 Fax 0774-43-1367 〒 613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地 304-1